



VeriTrans4G 導入テストガイド



Test Guide ver.1.0.18 (2026 年 8 月～)

目次

1.	本ガイドについて	4
1.1	本ガイドの内容	4
1.2	著作権、および問い合わせ先	4
1.3	改訂履歴	4
2.	テスト準備	7
2.1	テストを行うまでに必要な準備	7
2.2	テストの流れ	7
2.3	設定項目について	8
3.	決済別のテスト仕様	10
3.1	ダミーモードと本番取引	10
3.2	クレジットカード決済	10
3.3	3D セキュア	11
3.4	コンビニ決済	12
3.5	電子マネー決済	14
3.5.1	Edy、Suica のテスト仕様	14
3.5.2	Waoon のテスト仕様	14
3.6	銀行決済	15
3.7	Paypal 決済	15
3.7.1	金額とエラーコードの対応	15
3.7.2	ダミー決済センター	18
3.8	銀聯ネット決済(UPOP)	19
3.9	永久不減ポイント決済	22
3.10	Alipay 決済	23
3.10.1	Alipay オンライン決済	23
3.10.2	Alipay バーコード決済(店舗スキャン型)	27
3.10.3	Alipay バーコード決済(消費者スキャン型)	29
3.10.4	消費者スキャン型の画面遷移	30
3.11	キャリア決済	33
3.11.1	金額とエラーコードの対応	33
3.11.2	ダミー決済センター仕様	37
3.12	ショッピングクレジット決済	47
3.13	ワンクリック継続課金サービス	49
3.13.1	MDK 利用時の会員管理機能のテスト仕様	49
3.13.2	CSV ファイル授受のテスト仕様	51
3.13.3	継続課金のテスト方法	53
4.	その他	56

4.1	決済申込後の取引ステータスの変化について	56
4.2	結果通知の受信テストについて	56
4.2.1	テスト用アカウントでのテスト	58
4.2.2	本番アカウントでのテスト	58
4.3	テスト取引の確認について	59
4.4	取引 ID について	59
4.4.1	テスト用アカウントをご利用の場合	59
4.4.2	本番アカウントをご利用の場合	59
4.5	取引の保存期間など	59

1. 本ガイドについて

1.1 本ガイドの内容

本ガイドは、(株)DGフィナンシャルテクノロジーが提供する VeriTrans4G を利用するインターネット店舗等で、システム構築後に行うテストのテスト仕様について解説したものです。

1.2 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright (c) 2026 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ペリトランス テクニカルサポート

電子メール: tech-support@veritrans.jp

1.3 改訂履歴

2017/04 : Ver1.0.0 リリース

2017/08 : Ver1.0.1 リリース

「4.2 結果通知の受信テストについて」の銀聯ネット決済(UPOP)の説明を追加

2017/12 : Ver1.0.2 リリース

「3.13 ワンクリック継続課金サービス」に実施可・不可の表を追記

2018/02 : Ver1.0.3 リリース

3.10.2 を「Alipay バーコード決済(店舗スキャン型)」のみに変更しダミー取引の返戻コード定義を更新

3.10.3 で「Alipay バーコード決済(消費者スキャン型)」を切り出して定義

2018/09 : Ver1.0.4 リリース

3.2 テストカード以外で取引を実施した場合のエラーコードを「AC09」に修正

3.3 テストカード以外で取引を実施した場合のエラーコードの説明を追記

「3.11.2 ダミー決済センター仕様」のドコモケータイ払いのダミー決済センター画面に対応する端末種別を更新(「スマートフォン向け」から「PC/スマートフォン向け」に変更)

「3.11 キャリア決済」 S!まとめて支払いのサービス終了に伴い、記述を削除

「4.2.2 本番アカウントでのテスト」 結果通知 URL の登録方法について修正

2019/10 : Ver1.0.5 リリース

「3.2 クレジットカード決済」のテスト用クレジットカード番号から「その他」を削除

2020/02 : Ver1.0.6 リリース

「3.13.2 CSV ファイル授受のテスト仕様」に「会員 ID コピー」の内容を追加

2021/01 :Ver1.0.7 リリース

- 「3.13.1 MDK 利用時の会員管理機能のテスト仕様」に「ダミー会員 ID は一定期間で削除される旨を追記
- 「3.13.2 CSV ファイル授受のテスト仕様」に「共用テストアカウント(カード番号全桁入力用)」を追加

2022/03 :Ver1.0.8 リリース

- 「3.3 MPI ホスティング」 参照資料名の修正
- 「3.4 コンビニ決済」の「決済キャンセル」のテスト仕様を修正
- 「3.13.1 MDK 利用時の会員管理機能のテスト仕様」に「ダミー継続課金グループ」の内容を追記
- 「3.13.2 CSV ファイル授受のテスト仕様」の不要文言の削除、「洗替依頼 CSV ファイル」と「継続課金登録CSVファイル」の削除
- 「3.13.3 継続課金のテスト方法」を追記

2022/04 :Ver1.0.9 リリース

- 「3.4 コンビニ決済」の「決済キャンセル」のテスト仕様を修正
- ※econ および lawson のキャンセルのテストがマーチャント ID 末尾 69713 で利用可能になりました。
- 「3.13.3 継続課金のテスト方法」に固定課金グループについて追記

2022/06 :Ver1.0.10 リリース

- サービス名の変更(ドコモケータイ払い→d 払い)

2023/01 :Ver1.0.11 リリース

- 「3.11.1 金額とエラーコードの対応」に再与信時の仕様を追記
- 「3.13.1 MDK 利用時の会員管理機能のテスト仕様」に「ダミー会員は 30 日程度で削除される旨を追記

2023/10 :Ver1.0.12 リリース

- 「2.2 テストの方法について」を「2.2 テストの流れ」に変更し、内容も全面的に修正
- 「3.6 銀行決済」の「(ネットバンク決済の場合、Authorize の応答は success となり金融機関選択時にエラーが発生します)」を削除
- 「3.9 永久不減ポイント決済」 サービス終了のため記述を削除
- 「MPI ホスティング」という用語を「3D セキュア」に修正

2024/03 :Ver1.0.13 リリース

- MAP の URL を「pay.veritrans.co.jp」から「admin3.veritrans.co.jp」に変更
 - ・「2.3 設定項目について」
 - ・「4.3 テスト取引の確認について」
- 「3.2 クレジットカード決済」3D セキュアのテストについて注意書きを追記
- 「3.3 3D セキュア」わかりやすくなるよう全体的に修正
- 「3.6 銀行決済」返戻される vResultCode を修正

2024/06 : Ver1.0.14 リリース

「3.11.1 金額とエラーコードの対応」

決済申込時の仕様に随時決済を追加

キャンセル時の au かんたん決済の表を調整

継続課金終了(強制終了)時の仕様に随時決済を追加

再与信時の仕様に au かんたん決済を追加

「3.11.2 ダミー決済センター仕様」に au かんたん決済の随時決済について追記

2024/11 : Ver1.0.15 リリース

「3.5.3 nanaco のテスト仕様」を削除(nanaco サービス終了のため)

「4.5 取引の保存期間など」を追加

2025/10 : Ver1.0.16 リリース

「3.11.1 金額とエラーコードの対応」

■ 決済申込における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

■ 売上における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

■ キャンセルにおける決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

au の列を au PAY (au かんたん決済)、au PAY (ネット支払い) ウェブ方式、au PAY (ネット支払い)

アプリ方式の3つに分割

■ 継続課金終了(強制終了)における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

「au かんたん決済」を「au PAY (au かんたん決済)」に変更

■ 再与信(随時決済)における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

「au かんたん決済」を「au PAY (ネット支払い)」に変更

「3.11.2 ダミー決済センター仕様」

「au かんたん決済」を「au PAY (au かんたん決済)」に変更

「4.1 決済申込後の取引ステータスの変化について」

「(B)キャリア決済」を削除

2026/07 : Ver1.0.17 リリース

「3.2 クレジットカード決済」

◆テスト用クレジットカード番号 に 3D セキュアのテストでは使用できない旨追記

「3.3 3D セキュア」

3D セキュア成功・与信失敗の確認方法を追記

カードブランドによる挙動の違いはない旨追記

2026/08 : Ver1.0.18 リリース

「3.11.1 金額とエラーコードの対応」

au PAY (ネット支払い) アプリ方式の金額下 1 桁「7」の結果コードを修正 W001→WG02

au PAY (ネット支払い) アプリ方式の金額下 1 桁「8」の結果コードを修正 W001→WG33

2. テスト準備

2.1 テストを行うまでに必要な準備

テストを行う際、以下の準備が完了している必要があります。

1. 各処理サーバーやネットワークなどにおいて弊社と通信できる環境が整備されている
2. 弊社が提供する MDK が導入されている
3. テストに用いるアカウント情報(マーチャント ID など)を取得している
4. アカウント情報が MDK に正しく設定されている

2.2 テストの流れ

テストには 3 つのステップがあります。

1. テスト専用アカウントを用いてテストする

テスト専用アカウントを使用しますとダミーモードの取引となります。ダミーモードでは決済会社まで要求を送信せずに、弊社決済サーバー折り返しで疑似的な応答電文を返します。要求電文のパラメータの設定値で返戻する電文を制御しています。詳しくは各決済サービスのテスト仕様をご確認ください。

まずはダミーモードで弊社との接続、パラメータの設定等をテストしてください。テスト専用アカウントは「A100000000000001069***」のフォーマットとなります。システム開発中はテスト専用アカウントを使用して挙動を確認しながら進めていくことをお勧めします。

2. 本番アカウントのダミーモードでテストする

テスト専用アカウントと本番アカウントでは利用できる機能や、各種設定が異なっている場合があります。

設定が異なっていると挙動も異なりますので、テスト専用アカウントでのテストの後は、本番アカウントのダミーモードでテストを行ってください。

ダミーモードですので、テスト専用アカウントと同様、弊社折り返しとなります。

テスト専用アカウントでのテストを省略し、本番アカウントのダミーモードでのテストから開始しても問題はありません。

3. 本番アカウントの本番モードでテストする

ダミーモードは弊社からの折り返しで、決済会社の仕様に依存する部分の確認ができませんので本番モードでの確認が必要です。本番モードでは実際に決済会社に接続しますが、PCブラウザからの決済、スマートフォンのブラウザからの決済、スマートフォンアプリからの決済で挙動が異なる場合がありますので、本番モードで一通りの動作を確認してください。特にID決済や3Dセキュアなど決済会社に制御が遷移するものについては、十分に動作確認を行ってください。

また、ブラウザについてもバージョンによる挙動の違いがある可能性がありますので、加盟店様が許容する最も古いバージョンと最新のバージョンでご確認ください。

各ブラウザ、アプリでは想定通りの挙動とならず原因の究明に時間がかかることもございますので、本番モードでのテストには、十分な期間を設けることをお勧めします。

本番モードでは決済会社に決済要求が送信されますので、実請求が発生する要求の場合はキャンセルを実施してください。

2.3 設定項目について

テストに必要な各値を MDK に設定します。MDK の設定ファイルは

Java、PHP の場合は「3GPSMDK.properties」

.NET の場合は「3GPSMDK.ini」

Ruby の場合は「tg_mdk.ini」

です。この設定ファイルに以下の情報を設定下さい。

※その他設定値詳細については別資料「MDK インストールガイド」を参照

■ マーチャント認証用の設定

弊社より別途マーチャント情報(マーチャント ID とパスワード)を通知致します。

それらの情報を使い、MAP から「マーチャント CCID」と「マーチャント認証鍵」を取得下さい。

※MAP とは

Merchant Administration Portal の略で、弊社サービスにおける管理・運用上の各種情報・機能を提供する Web 型の管理ツールです。MAP の使用法は、「ご利用ガイド」を参照してください。

URL: <https://admin3.veritrans.co.jp/maps/>

MAP にログイン後、トップページ→「API 設定情報はこちら」より MDK 設定値「マーチャント CCID」と「マーチャント認証鍵」をご確認下さい。

■ MDK への設定

1. マーチャント CCID の設定

MERCHANT_CC_ID = xxxxxxxxxxxx

2. マーチャント認証鍵の設定

MERCHANT_SECRET_KEY = xxxxxxxxxxxxxxxxx

■ ダミーモードの設定

本項目の設定により、テスト用取引(ダミー決済)、本番取引を切り替えます。

DUMMY_REQUEST = x

本番アカウントを用いてテストを行う場合(テスト用にダミー決済を発生させる場合)は、ダミーモードの設定を以下とします。

「1」:ダミーモード ON

本番アカウントにて本番取引を開始する際には、ダミーモードの設定を以下に変更します。

「0」:ダミーモード OFF

尚、テストアカウントを用いたテストではダミーモードの設定値に関わらず、全てのエントリーを自動的に決済サー

バーで折返します。

詳細については、「3.1 ダミーモードと本番取引」を参照してください。

3. 決済別のテスト仕様

3.1 ダミーモードと本番取引

ダミーモードは、決済のテストを行うために決済サーバーにて決済事業者（コンビニ各社、キャリア等）からのレスポンスを疑似的に発生させる等の仕組みで取引のステータス遷移をシミュレートするものとなっております。そのため、ダミーモードの動作は本番取引と全く同じというわけではありません。

特に Search にて返戻される内部トランザクション情報につきましては、トランザクションが生成されるタイミングにズレが発生することがあります。あるトランザクションの情報が、ダミーモードで取得できるタイミングと、本番取引で取得できるタイミングが異なる場合があります。

必ず本番モードでも十分な試験を実施してください。

なお、本番と動作が異なる部分については、本番取引の動作を正とします。

3.2 クレジットカード決済

クレジットカード決済のテストを行うには、以下に指定したテスト用のカード番号を用いてテストを行います。

下記テストカード番号と任意の有効期限（一部を除く）を設定いただくと、成功レスポンスが戻ります。実在のクレジットカードを用いた場合はすべてエラーとなりますのでご注意ください。

テストカード以外で取引を実施された場合、vResultCode は「AC09」となります。

3D セキュアのテストを実施する場合は以下のカード番号ではなく 3D セキュア用のカード番号を使用してください。

詳しくは「3.3 3D セキュア」をご確認ください。

◆テスト用クレジットカード番号

※3D セキュアのテストでは使用できない番号を含んでいますのでご注意ください。

VISA	4111111111111111
MasterCard	5555555555554444
	5105105105105100
	5500000000000004
	2342342342342341
	2222222222222224
JCB	3528000000000007
	3528000000000015
	3528000000000023
	3530111333300000
AMEX	378282246310005
	371449635398431
	377752749896404
	3411111111111111
Diners	36666666666660

また、出現頻度の高いエラーの異常系テストを実施できるよう、テストカード番号と合わせて下記の有効期限を入力頂くことで、エラーレスポンスが戻ります。

◆エラーレスポンス用有効期限

vResultCode	有効期限(MMY)	vResultCode	有効期限(MMY)
AG33	0199	AG61	0999
AG41	0299	AG49	1099
AG64	0399	AG48	1199
AG39	0499	AG44	1299
AG45	0599	AG47	0198
AG70	0699	AG71	0298
AG46	0799	AG51	0398
AG72	0899		

◆AuthCode のレスポンス

テスト時に返戻される承認番号(AuthCode)は以下の固定値となります。

＜与信時＞ 取引成功:[000000]

取引失敗:[123456]

＜キャンセル時＞ 取引成功:[000000]

取引失敗:与信に成功してキャンセルで失敗するパターンはありません。

3.3 3D セキュア

3D セキュアでは、本人認証タイプ毎に認証結果の判定方法(カード決済を行う／行わない の判定)が異なります。そのため、本人認証タイプ毎に想定されるシナリオ(認証成功/みなし認証成功/不正疑いによる認証 NG/システム障害による認証不可等)をテストできるようにしています。

それぞれのシナリオについて 3D セキュア用のテストカード番号を準備しております。

カード番号により、3D セキュア(本人認証)成功、失敗、認証不可、異常終了等のシナリオテストが実施可能です。

3D セキュア用のテストカード番号は、3DS2.0 補足資料の「B.シナリオ別コード一覧」を参照してください。

✧ テストシナリオは、すべてのカードブランドの成功/失敗を確認できるものではありません。動作確認を行いたいシナリオにテストカード番号が記載されていないブランドの場合は、他のブランドのテストカード番号で代用してください。

➤ API 仕様や加盟店から見た挙動に大きな違いはございませんので、通常は加盟店システムでその違いを意識すべき状況はそれほど多くございません。

✧ 3D セキュアが成功、与信が失敗のケースの動作確認を行う場合は、3D セキュアが成功するカード番号と「3.2 クレジットカード決済」の「◆エラーレスポンス用有効期限」に記載している有効期限を組み合わせて使用してください。

✧ テストカード以外で取引を実施された場合、vResultCode は「NH02」となります。

3.4 コンビニ決済

■ 決済申込

決済申込のリクエスト電文要素である電話番号(“telNo”)の値で応答を指定します。

・電話番号の上二桁が、「05」「06」「07」「08」「09」のいずれかの場合 ⇒ success を戻します。

・電話番号の上二桁が、上記以外 ⇒ failure を戻します。

※failure の場合、vResultCode は「DG18」「DG23」「DG32」「DG34」「DG37」「DH15」のいずれかとなります。

■ 決済キャンセル

テストアカウントまたはダミーモードでは、決済申込が成功してからおよそ 20 秒後に自動で入金済ステータスとなりますので、それまでの間にキャンセルをリクエストする必要があります。

また、決済サービスオプション(“serviceOptionType”)によって、キャンセルのテストで success となる条件が異なりますので、下表を参考にテストを実施してください。

serviceOptionType	キャンセルが success となる条件
sej	・共用テストアカウント(末尾 69951)を利用している ・電話番号の上二桁が「05」「06」「07」「08」「09」のいずれかで決済申込が成功している ※本番マーチャント ID のダミーモードではキャンセルは成功しませんので、本番モードでテストを実施してください。
econ	・共用テストアカウント(末尾 69951 または 69713)を利用している ・電話番号の上二桁が「05」「06」「07」「08」「09」のいずれかで決済申込が成功している ※本番マーチャント ID のダミーモードではキャンセルは成功しませんので、本番モードでテストを実施してください。
other	・other が利用できるテストアカウント、または本番アカウント(ダミーモード)を利用している ・電話番号の上二桁が「05」「06」のいずれかで決済申込が成功している
famima	・famima が利用できるテストアカウント、または本番アカウント(ダミーモード)を利用している ・電話番号の上二桁が「05」「06」のいずれかで決済申込が成功している
lawson	・共用テストアカウント(末尾 69713)を利用している ・電話番号の上二桁が「05」「06」「07」「08」「09」のいずれかで決済申込が成功している ※本番マーチャント ID のダミーモードではキャンセルは成功しませんので、本番モードでテストを実施してください。

・上記以外は failure となり、vResultCode は「DG37」となります。

・これらの条件は、今後変更される場合があります。

■ 入金済ステータスに関するダミーモードと本番取引との差異

コンビニ種別により、決済サーバー内部での取引ステータス遷移は異なります。入金通知電文インターフェースや MAP 上の表記につきましては横並びとなる仕様となっておりますが、Search リクエストに対して返戻するトランザクション情報は、内部的なステータスとなるためコンビニ種別によって異なります。

具体的な例として、セブンイレブン(“sej”)の場合、ダミーモードの取引では、疑似入金済となるタイミングで「速報

(capture)」と「確報(fix_capture)」のトランザクションデータが作成されますが、本番取引では消費者の入金があり、MAP 上で入金済になるタイミングでは「capture」のみが作られ、「fix_capture」のトランザクションデータは作成されません。「fix_capture」は後日セブニーレブンより取得する確報データ(*1)取り込み時に作成されます。

バッチプログラムから Search で入金済を確認する方式を検討する際には、この点を考慮して条件を設定してください。

なお、イーコン(“econ”)、その他(“other”)は、「capture」のデータは作成されません。消費者の入金があり、MAP 上で入金済となるタイミングで「fix_capture」のトランザクションデータが作成されます。

(*1) 確報データの反映は入金通知では通知されません。また MAP 上の表記も変化いたしません。

3.5 電子マネー決済

テストアカウント、または本番アカウントにて DUMMY_REQUEST を”1”に設定している場合、決済センターからのメール送信は行われません。

本番アカウントにて DUMMY_REQUEST を”0”設定した本番お取引の場合のみ、決済サーバーより決済センターへ要求電文が送られます。決済センターでの処理後、要求電文の mailAddr、および merchantMailAddr に指定されたメールアドレスへ、決済センターからのメールが送信されます。

3.5.1 Edy、Suica のテスト仕様

決済申込のリクエスト電文要素である決済金額(”amount”)の値で応答を指定します。

- ・決済金額の下一桁が、「0」、「1」、「2」、「3」、「4」の場合 ⇒ success を戻します。
- ・決済金額の下一桁が、上記以外 ⇒ failure を戻します。

※failure の場合、vResultCode は「EE06」、「EH11」、「EG45」となります。

3.5.2 Waon のテスト仕様

◆ 決済申込

決済申込のリクエスト電文要素である決済金額(”amount”)の値で応答を指定します。

- ・決済金額の下一桁が、「1」、「4」、「5」、「8」の場合 ⇒ success を戻します。
- ・決済金額の下一桁が、上記以外 ⇒ failure を戻します。

※failure の場合、vResultCode は「EE06」、「EH11」、「EG45」のいずれかとなります。

◆ 返金申込

返金申込のリクエスト電文要素である返金金額(”amount”)の値で応答を指定します。

- ・決済金額の下一桁が、「1」の場合 ⇒ success を戻します。
- ・決済金額の下一桁が、上記以外 ⇒ failure を戻します。

※failure の場合、vResultCode は「EE06」、「EH11」、「EG45」のいずれかとなります。

3.6 銀行決済

決済申込のリクエスト電文要素である決済金額("amount")の値で応答を指定します。

- ・決済金額の桁が、「0」の場合 ⇒ success を返します。
- ・決済金額の桁が、「1」～「8」の場合 ⇒ failure を返します。vResultCode は「PG10」になります。
- ・決済金額の桁が、「9」の場合 ⇒ failure を返します。vResultCode は「PE05」になります。

3.7 Paypal 決済

MDK 設定ファイルの DUMMY_REQUEST 項目を"1"(ダミーモード ON)に設定の上、テストを実施してください。

各言語のサンプルプログラムは、『MDK インストールガイド』を参照し、環境を設定してください。

3.7.1 金額とエラーコードの対応

決済申込のリクエスト電文要素である決済金額("amount")の値を調整することで、意図した結果応答を得ることができます。各コマンドにおける決済金額とアクションタイプ("action")の組み合わせに対して返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

※以下、コマンドとアクションタイプの組合せを「コマンド(アクションタイプ)」と表記します。(例 Authorize(set))

■ 与信(Authorize)コマンドにおける決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額の 下 1 桁	Authorize コマンド		
	set	get ※1	do ※1
0	L001 (成功)	L001 (成功)	L001 (成功)
1	LG04		
2	L001 (成功)	LG04	LG04
3		L001 (成功)	L001 (成功)
4			
5			
6			
7			
8			
9			L002 (ペンディング)

※1: Authorize (get)、Authorize (do) は、Authorize (set) 時に指定した決済金額の値にて処理を行います。

このため、Authorize (get)、Authorize (do) にて特定の vResultCode を返戻させたい場合は、Authorize (set) 時の決済金額の下 1 桁を発生させたい vResultCode に対応する値に調整します。

例) Authorize (get) 時に「LG04」のエラーを発生させたい場合

⇒Authorize (set) 時の決済金額の下 1 桁を「2」に調整します。

■ 売上(Capture)コマンドにおける決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額の 下 1 桁	Capture コマンド			
	set	get ※2	do ※2	capture ※3
0	L001（成功）	L001（成功）	L001（成功）	L001（成功）
1	LG04			
2	L001（成功）	LG04		
3		L001（成功）	LG04	
4				
5				
6				
7				
8				
9			L002（ペンディング）	L001（成功）

※2: Capture (get)、Capture (do) は、Capture (set) 時に指定した決済金額の値にて処理を行います。

このため、Capture (get)、Capture (do) にて特定の vResultCode を発生させたい場合は、Capture (set) 時の決済金額の下 1 桁を発生させたい vResultCode に対応する値に調整します。

例) Capture (do) 時に「LG04」のエラーを発生させたい場合

⇒Capture (set) 時の決済金額の下 1 桁を「3」に調整します。

※3: 与信処理が完了している取引に対して Capture (capture)を行い、当該取引を売上の状態にします。

例) Capture (capture)時に「LG02」のエラーを発生させたい場合

⇒Capture (capture)時の決済金額の下 1 桁を「4」に調整します。

■ キャンセル (Cancel)コマンド、返金 (Refund)コマンドにおける決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額の 下 1 桁	Cancel コマンド ※4	Refund コマンド ※5
0	L001（成功）	L001（成功）
1		
2		
3		
4		
5	LG02	LG06
6	L001（成功）	
7		
8		
9		

※4: 与信処理が完了している取引に対してキャンセルを行います。(キャンセル処理は、Authorize (do)が完了している
処理に対してのみ実施可能です)

例) Cancel 時に「LG02」のエラーを発生させたい場合

⇒Cancel 時の決済金額の下 1 桁を「5」に調整します。

※5: 売上処理が完了している取引に対して返金を行います。(返金処理は、Capture (do)、または Capture (capture)が
完了している取引に対して実施可能です。)

例) Refund 時に「LG06」のエラーを発生させたい場合

⇒Refund 時の決済金額の下 1 桁を「6」に調整します。

3.7.2 ダミー決済センター

PayPal 決済のテスト環境として、「ダミー決済センター」と呼ばれる決済センターの擬似環境を提供しています。

ダミー決済センターは、実際の PayPal 側決済センターでの画面遷移をシミュレートする形で実装しておりますが、必ずしも一致するとは限りませんのでご注意ください。

また、画面のデザインは、実際の PayPal 側決済センターとは異なります。

ダミー決済センター ログイン画面(PayPal)

ダミーモードが正しく設定されていれば、PayPal ダミー決済センター ログイン画面に接続されます。

「ログイン」ボタンを押下して、次に進みます。

※ダミー決済センターのログイン画面では、PayPal のアカウント ID とパスワードの入力は不要です。

※実際の PayPal 側決済センターでは、PayPal のアカウント ID とパスワードの入力を求められる場合があります。

ダミー決済センター 確認画面(PayPal)

ダミー決済センター ログイン画面にて「ログイン」ボタンを押下すると、ダミー決済センター 確認画面に進みます。

「継続」ボタンを押下して、次に進みます。サンプルプログラムの設定ファイルに指定した戻り先 URL に画面が遷移します。

「キャンセル」ボタンを押下した場合、サンプルプログラムの設定ファイルに指定した取消 URL に画面が遷移します。

※サンプルプログラムの設定ファイルの設定方法は、『MDK インストールガイド』を参照してください。

3.8 銀聯ネット決済(UPOP)

■ 決済申込

MDKをダミーモードで実施ください(MDK設定ファイルのDUMMY_REQUEST項目を”1”へ設定する)。

Java,PHPのサンプルプログラムはインストールガイドを参考に設定してください。下記は決済画面例となります。

銀聯ネット決済(UPOP)の開始画面

UPOP決済：決済請求



在线支付

Online Payment

取引ID	dummy1487921024372	取引ID更新
金額	10	
与信方法	与信のみ(与信成功後に売上処理を行う必要があります) ▼	

購入

※ 2回以上クリックしないでください。

[決済サンプルのトップメニューへ戻る](#)

ダミーモードが正しく設定されていれば、UPOP ダミーセンターに接続されます。

UPOP ダミーセンター

[illegible]

UPOP 側から消費者へ戻り、加盟店サイトに結果を戻ります。

決済結果画面

UPOP決済：取引結果	
取引ステータス	success
結果コード	U001000000000000
結果メッセージ	取引が成功しました。
取引ID	dummy1487921024372
トランザクションID(取引毎につけるID)	38582
決済時刻 (日本時間)	20170224162642
決済時刻 (中国時間)	20170224152642
元売上金額	0
清算金額	10
清算日付	0224
清算通貨種類	392
清算レート	
決済センターとの取引ID	

[決済サンプルのトップメニューへ戻る](#)

■ 売上、取消、返金

売上申込とは、与信成功後の取引に対する売上処理を指します(与信時にwithCapture項目を”1”に

設定する事によって、与信処理と売上処理を同時に実行する事もできます)。

取消とは成功した売上と成功した与信に対する連続処理となり、返金とは成功した売上取引に対する取消処理となります。売上の場合、当日のみ取消が可能で、翌日以降は返金処理となります。

エラー系テストにつきまして、与信のみ及び与信売上については、UPOPダミー決済センターのプルダウンメニューにてテスト可能です。

その他のコマンドにおいては、金額を下記テーブルに示した数値を指定する事によって、取消や返金時の各種失敗ステータスを取得する事ができます。

取消においては与信時において下記の金額を指定して頂き、返金、売上においてはリクエスト時に金額指定して頂くことで失敗ステータスが返戻されます。

金額	vResultCode
2	UG02
3	UG03
6	UG04
11	UG05
14	UG06
15	UG07
20	UG08
21	UG09
36	UG12
39	UG14
40	UG15
41	UG16
42	UG17
83	UG23
上記以外	U001

3.9 永久不滅ポイント決済

サービス終了のため削除しました

3.10 Alipay 決済

MDK をダミーモードに設定の上、テストを実施してください。(MDK 設定ファイルの DUMMY_REQUEST 項目を”1”(ダミーモード ON)に設定します)

Java,PHP のサンプルプログラムは各インストールガイドを参照し、環境を設定してください。

Alipay 決済のテスト環境として、Alipay ダミーセンターと呼ばれる Alipay 決済の折り返し環境が提供されています。

Alipay ダミーセンターにて店舗は決済申込、返金申込の成功、失敗をテストできます。

3.10.1 Alipay オンライン決済

■ 決済申込

Alipay ダミーセンターにおいて、決済申込成功、決済申込失敗(期限切れ)を選択できます。

これにより Alipay ダミーセンターより、それぞれ決済申込成功、決済申込失敗が返戻され、店舗にて成功、失敗時の確認を行うことができます。

下記は決済画面例となります。

決済品目選択画面

購入商品			
 (注) 画像はイメージです。	商品番号	商品名	数量
	4G-S-001	サンプル商品	1
	合計金額		10 円

決済方法選択
下記から決済方法を選択してください。 ☐ クレジットカード ☐ クレジットカード (本人認証あり) ☐ コンビニエンスストア ☐ 電子マネー ☐ 銀行 ☐ PayPal ☐ 永久不滅ポイント(永久不滅ウォレット) ☐ 銀聯ネット決済(UPOP) ☒ Alipay ☐ キャリア決済 ☐ ショッピングクレジット ☐ 楽天ID決済 ☐ リクルートかんたん支払い ☐ LINE Pay ☐ MasterPass決済 ☐ 銀行振込決済
決済手続きへ
管理者向けメニューサンプルはこちら PayNowIDメニューサンプルはこちら

Alipay 決済の開始画面

Alipay決済：決済請求		支 支付宝 ALIPAY
取引ID	dummy1488247035610 取引ID更新	
金額	10 ☒ JPY ☐ CNY ※CNYの場合は、金額には100以上の値を指定する必要があります。	
決済種別	☒ オンライン決済 ☐ バーコード決済(店舗スキャン型) ☐ バーコード決済(消費者スキャン型)	
ユーザ識別コード		
商品名	新製品	
商品詳細	新製品詳細	
商品ID		
決済完了時URL	https://demo.veritrans.co.jp/cgMdkSampleJava1/alipay/AuthorizeResult	
決済エラー時URL	https://demo.veritrans.co.jp/cgMdkSampleJava1/alipay/AuthorizeResult	
購入 ※ 2回以上クリックしないでください。		
決済サンプルのトップメニューへ戻る		

ダミーモードが正しく設定されていれば、Alipay ダミーセンターに接続されます。

Alipay ダミーセンター

商品名: 新製品	現在時刻: 2016-09-30 17:24 為替レート: 1JPY = 1.00JPY	合計: 10 JPY = 10 JPY
Alipay Online Payment ダミーセンターです。		
ユーザーIDとパスワードのみ入力して、各種決済結果のシミュレーションができますので、MDKインテグレーションテストの際に、ご活用ください。 この画面は、Alipayネット決済のテストを行うためのダミー画面ですので、本番Alipay決済画面のデザインと異なります。		
Alipayアカウントをお持ちのお客様		
ユーザーID: dummy@veritrans.jp パスワード: ログイン		

下記の情報で Alipay ダミーセンターにログインできます。

ユーザーID: dummy@veritrans.jp

パスワード: Dummy123

決済結果選択画面

商品名: 新製品	現在時刻: 2016-09-30 17:24 為替レート: 1JPY = 1.00JPY	合計: 10 JPY = 10 JPY
Alipayアカウント: dummy@veritrans.jp		
取引結果: ☒ 成功 - 取引の決済は通常に完了しました。 ☐ 失敗 - 取引の決済は失敗しました。		
確定		

Alipay 側から消費者へ戻り、加盟店サイトに結果を戻します。

成功、失敗(期限切れ)の折り返しができます。

決済結果画面

Alipay決済 : 取引結果	
取引ステータス	success
結果コード	Y0010000000000000
結果メッセージ	取引が成功しました。
取引ID	dummy1488247035610
トランザクションID(取引毎につけるID)	106468
決済センターとの取引ID	VT3Gtmp0000000000116170
清算金額	10
清算通貨種類	JPY

[決済サンプルのトップメニューへ戻る](#)

■ 返金申込

返金申込とは、成功した売上取引に対する返金処理となります。

Alipayダミーセンターによる返金申込のテストにおいては、「返金理由」に「fail」を指定し返金申込を行うと、「返金申込失敗」の応答がAlipayダミーセンターより返戻されます。

また、「返金理由」に「fail」以外の文字列を指定し返金申込を行うと、「返金申込成功」の応答がAlipayダミーセンターより返戻されます。

店舗では、「返金理由」の値により返金申込成功・失敗をそれぞれ確認することができます。

Alipay決済：返金請求	
取引ID	dummy1488247035610
金額	10
返金理由	返金理由
返金 ※ 2回以上クリックしないでください。	
管理メニューへ戻る	

返金申込結果画面

Alipay決済返金：取引結果	
取引ID	dummy1488247035610
取引ステータス	success
結果コード	Y001000000000000
結果メッセージ	取引が成功しました。
決済センターとの取引ID	VT3Gtmp0000000000116171
残高	
管理メニューへ戻る	

3.10.2 Alipay バーコード決済(店舗スキャン型)

Alipay バーコード決済(店舗スキャン型)の決済申込および確認では、申込時の決済金額の値を調整することで、意図した結果応答を得ることができます。

尚、申込/確認時のレスポンスタイプの指定によって金額に対して返戻される vResultCode が異なる為、その対応表を以下に記載します。

金額の下1桁	決済申込		確認	
	レスポンスタイプなし ／レスポンスタイプ=0	レスポンスタイプ=1	レスポンスタイプなし ／レスポンスタイプ=0	レスポンスタイプ=1
0	Y001(成功)		Y002(確定済み:成功)	
1	YG07		YC08(確定済み:失敗)	
2	YG09			
3	YH06※1	YG12(承認待ち)	※2	
4	YG05		YC08(確定済み:失敗)	
5	Y001(成功)	YG12(承認待ち)	※2	
6	Y001(成功)		Y002(確定済み:成功)	
7				
8				
9				

※1:このケースでは、弊社システムに設定している「決済待ち時間(秒)」経過後に返却します。

MAP (Merchant Administration Portal) で「決済待ち時間」を変更した後の確認にもご利用いただけます。

(実際に設定している時間よりも、数秒遅く返戻される場合があります。)

※2:決済申込で YG12(承認待ち)の結果を取得した場合、

後続の確認コマンドは以下のパターンがありそれぞれで返戻コードが異なります。

- 1) 決済ステータスが未確定の場合
- 2) 確認コマンドで決済ステータスの確定結果が得られた場合
- 3) 決済ステータスが確定済みの場合

尚、決済ステータスが YG12(承認待ち)のまま残っている取引は弊社の決済ステータス確定リカバリ処理にて、決済申込から一定時間が経過するとステータスの確定を行います。

決済ステータス	金額の下1桁 = 3		金額の下1桁 = 5	
	レスポンスタイプなし ／レスポンスタイプ=0	レスポンスタイプ=1	レスポンスタイプなし ／レスポンスタイプ=0	レスポンスタイプ=1
未確定	-	YG12(承認待ち)	-	
確定	YH06※1		Y001(成功)	
確定済み	YC08(確定済み:失敗)		Y002(確定済み:成功)	

Alipay バーコード決済の返金のテストにおいては、「返金理由」に「fail」を指定し返金申込を行うと、「返金失敗」の応答が

返戻されます。(vResultCode は、「YG10」が返戻されます。)

また、「返金理由」に「fail」以外の文字列を指定し返金を行うと、「返金成功」の応答が返戻されます。

3.10.3 Alipay バーコード決済(消費者スキャン型)

Alipay バーコード決済(消費者スキャン型)の決済申込では、決済金額の値を調整することで、意図した結果応答を得ることができます。

金額に対して返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

金額の下 1 桁	決済申込(消費者スキャン型)
0	Y001(成功)
1	
2	YG09
3	Y001(成功)
4	
5	
6	
7	
8	
9	

決済申込時に指定する「ユーザ識別コード」には、任意の半角英数字 32 桁以内の値を設定してください。

返金のテストについては「3.10.2 Alipay バーコード決済(店舗スキャン型)」と同様です。詳細はこちらをご参照ください。

3.10.4 消費者スキャン型の画面遷移

■ 決済申込

Alipay ダミーセンターにおいて、決済申込成功、決済申込失敗を選択できます。

これにより Alipay ダミーセンターより、それぞれ決済申込成功、決済申込失敗が返戻され、店舗にて成功、失敗時の確認を行うことができます。

下記は決済画面例となります。

Alipay 決済の開始画面

Alipay決済：決済請求		支 支付宝 ALIPAY	
取引ID	dummy1488249198642 取引ID更新		
金額	10 ☒ JPY ☐ CNY ※CNYの場合は、金額には100以上の値を指定する必要があります。		
決済種別	☐ オンライン決済 ☐ バーコード決済(店舗スキャン型) ☒ バーコード決済(消費者スキャン型)		
ユーザ識別コード			
商品名	新製品		
商品詳細	新製品詳細		
商品ID	001		
決済完了時URL			
決済エラー時URL			
購入 ※ 2回以上クリックしないでください。			
決済サンプルのトップメニューへ戻る			

決済申込みで受信した QR コード表示

決済申込みのレスポンスで受信した QR コードを表示します。

QR コードをスマートフォンなどで読み込むか、「決済」ボタンを押下すると、Alipay ダミーセンターに接続します。

Alipay決済:取引結果	
取引ID	dummy1475224220827
取引ステータス	success
結果コード	Y001000000000000
結果メッセージ	取引が成功しました。
トランザクションID(取引毎につけるID)	103982
決済センターとの取引ID	VTSC3G_DEV_0000000000000065
QRコード	https:// [Redacted URL] https:// [Redacted URL]  SAMPLE  決済

Alipay ダミーセンター(決済結果選択画面)

スマホ画面(決済画面)

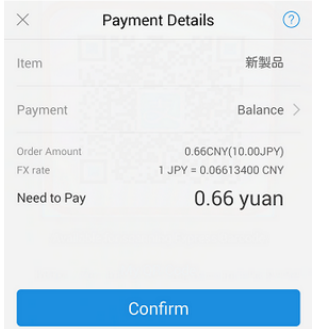
※実際にはスマートフォンのアプリに下記サンプル画面が表示されます。
 ※本番動作ではスマートフォンのアプリで操作しますが、ダミー動作を確認するために以下の取引結果を選択してください。

商品名: 新製品	合計: 10 JPY
----------	------------

取引結果: ☒ 成功 - 取引の決済は通常に完了しました。
☐ 失敗 - 取引の決済は失敗しました。

確定

サンプル画面



The screenshot shows a 'Payment Details' screen with the following information:

- Item: 新製品
- Payment: Balance >
- Order Amount: 0.66CNY(10.00JPY)
- FX rate: 1 JPY = 0.06613400 CNY
- Need to Pay: 0.66 yuan
- Confirm button

「確定」ボタンを押下すると、選択した結果の内容で結果通知を送信します。

PUSH通知によって決済結果を送信します。
 通知の受信もしくは決済ステータスの検索で結果を確認してください。

※返金については、Alipay オンライン決済を参照ください。

3.11 キャリア決済

MDK 設定ファイルの DUMMY_REQUEST 項目を“1”(ダミーモード ON)に設定の上、テストを実施してください。

各言語のサンプルプログラムは、『MDK インストールガイド』を参照し、環境を設定してください。

3.11.1 金額とエラーコードの対応

申込時の決済金額(“amount”)の値を調整することで、意図した結果応答を得られます。返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

■ 決済申込における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

都度決済、随時決済および継続課金の共通の仕様です。

金額の下 1 桁	d 払い	au PAY(au かんたん決済)	au PAY(ネット支払い)ウェブ方式	au PAY(ネット支払い)アプリ方式	ソフトバンクまとめて支払い(B)	ソフトバンクまとめて支払い(A)	フレッツまとめて支払い
0	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)
1							
2							
3							
4							
5		WG02	WG02	WG02		WG02	
6		WG04	WG04	WG25		WG02	
7		WG02	WG02	WG02		WG02	
8		WG04	WG04	WG33		WG07	
9		W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)		W001(成功)	
未指定※					-	-	-

※随時決済は金額指定不可

ダミー決済センターにて「購入中止」を選択した場合の vResultCode は「WGU1」となります。

ダミー決済センターの詳細については、「3.11.2 ダミー決済センター仕様」をご参照ください。

ソフトバンクまとめて支払い(A)の継続課金につきましては、商品番号(itemId)で指定可能な金額が決まります。

金額には、商品番号として入力した値と対応する金額を指定してください。

テスト用アカウントにて利用可能な商品番号と金額の組合せを以下の表に記載します。

商品番号	金額
dummy-sc-100000010	10
dummy-sc-100000025	25
dummy-sc-100000037	37
dummy-sc-100001050	1050

本番アカウントにてダミーモードを”1”に設定して取引を行う場合は、ソフトバンクモバイルより払い出されたサービス識別子と金額をご指定ください。

■ 売上における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額 の下 1 桁	d 払い	au PAY(au かん たん決済)	au PAY(ネット支 払い) ウェブ方式	au PAY(ネット支 払い) アプリ方式	ソフトバンク まとめて支払い (B)	ソフトバンク まとめて支払い (A)	フレッツまとめて 支払い
0	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	-	W001(成功)
1							
2	WG02	WG02	WG02	WG02	WG02		WG02
3	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)		W001(成功)
4		-					
5							
6							
7							
8							
9	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)				

※「ソフトバンクまとめて支払い(A)」は与信同時売上のため、売上は対象外となります。

■ キャンセルにおける決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額 の下 1 桁	d 払い	au PAY (au かん たん決済)	au PAY (ネット支 払い) ウェブ方式	au PAY (ネット支 払い) アプリ方式	ソフトバンク まとめて支払い (B)	ソフトバンク まとめて支払い (A)	フレッツまとめて 支払い	
0	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	—	W001(成功)	
1								
2								
3	WG02	WG02	WG02	WG02	WG02		WG02	
4	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)		—	W001(成功)
5								
6								
7								
8								
9								

※「ソフトバンクまとめて支払い(A)」は、キャンセルは対象外となります。

■ 継続課金終了(強制終了)における決済金額の下 1 桁の値と返戻される vResultCode

金額の 下 1 桁	d 払い	au PAY(au かん たん決済)	ソフトバンク まとめて支払い (B)	ソフトバンク まとめて支払い (A)	フレッツまとめて 支払い
0	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)	W001(成功)
1					
2					
3					
4	WG02	WG02		WG02	
5	W001(成功)	-		-	
6					
7					
8					
9	WG06	WG02		WG06	
未指定※	W001(成功)	W001(成功)	-	-	-

※随時決済の場合

※「消費者を介する継続課金終了」の場合、このエラーコードは返戻されません。

■ 再与信(随時決済)における決済金額の下1桁の値と返戻される vResultCode

金額の下1桁	d 払い	au PAY(ネット支払い)
0	W001(成功)	W001(成功)
1		
2		
3		
4	WA02	WG02
5	WG12	
6	WG05	
7	WG02	
8	WG04	WG04
9	W001(成功)	W001(成功)

3.11.2 ダミー決済センター仕様

キャリア決済のテスト環境として、「ダミー決済センター」と呼ばれる決済センターの擬似環境を提供しています。

ダミー決済センターは、実際のキャリア側決済センターでの画面遷移をシミュレートする形で実装しておりますが、必ずしも一致するとは限りませんのでご注意ください。

また、ダミー決済センターは、キャリアと端末種別（PC/スマートフォン/フィーチャーフォン）で動作が異なります。

■ d 払い(PC/スマートフォン向け)

ダミー決済センター – 決済申込:d 払い(PC/スマートフォン向け)	
	OpenID 発行画面 「OpenID を発行する」ボタンを押下して次に進みます。 ※決済申込時、『OpenID』に正しい OpenID を指定した場合、この画面はスキップされます。
	お支払い方法選択画面（都度決済時のみ） 「電話料金合算支払い」または「ドコモ口座払い」をラジオボタンで選択します。 「次へ」ボタン押下で次に進みます。 「購入中止」ボタン押下で注文をキャンセルします。キャンセルすると、『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に画面が遷移します。 ※継続課金の場合、本画面はスキップされます

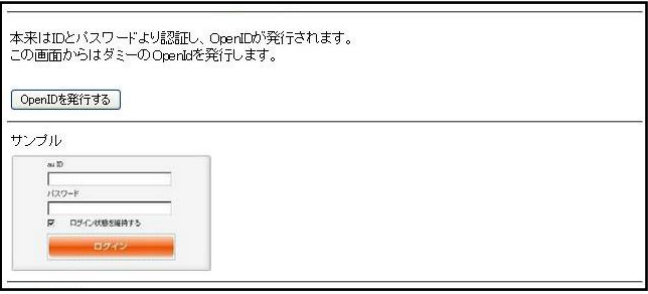
ネットワーク暗証番号入力画面 次へ 購入中止 サンプル 	ネットワーク暗証番号入力画面 お支払方法選択画面で【ドコモ口座支払い】を選択して「次へ」ボタンを押下した場合、本画面に遷移します。 「次へ」ボタン押下で次に進みます。 「購入中止」ボタン押下で注文をキャンセルします。キャンセルすると、『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に画面が遷移します。 ※継続課金の場合、本画面はスキップされます
決済内容確認画面 決済金額: ¥10 承諾して購入する 購入中止 サンプル 	決済内容確認画面 「承諾して購入する」ボタン押下で次に進みます。 「購入中止」ボタン押下で注文をキャンセルします。キャンセルすると『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に画面が遷移します。 ※左記キャプチャは、「電話料金合算支払い」で遷移した場合のものとなります。

決済完了画面 次へ サンプル 	決済完了画面 「次へ」ボタンを押下すると『決済完了時 URL』で指定した URL に遷移します。
--	--

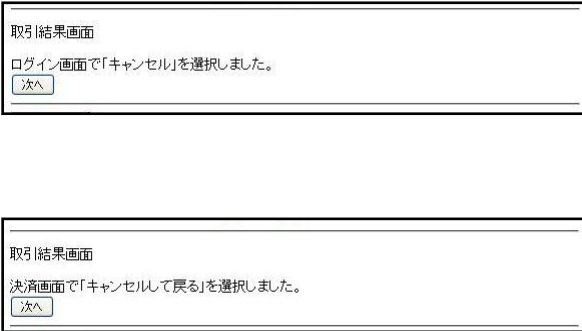
ダミー決済センター – 継続課金終了申込:d払い(PC/スマートフォン向け)	
解除内容確認画面 決済金額: ¥10 解除する 解除中止 サンプル 	解除内容確認画面 「解除する」ボタン押下で次に進みます。 「解除中止」ボタン押下で『継続課金終了キャンセル時 URL』で指定した URL に遷移します。
解除手続き完了画面 次へ サンプル 	解除手続き完了画面。 「次へ」ボタン押下で『継続課金終了完了時 URL』に指定した URL に遷移します。

■ au PAY (au かんたん決済)

都度決済、継続課金、随時決済でダミー決済センターの画面遷移は同じです。

ダミー決済センター – 決済申込: au PAY (au かんたん決済) (PC/スマートフォン向け)	
	OpenID 発行画面 「OpenID を発行する」ボタンを押下して次に進みます。 ※決済申込時、『OpenID』に何らかの文字列を指定した場合、この画面はスキップされます（OpenID のスキップに関して、d 払いと仕様が異なります）。
	暗証番号入力画面 実際の au の認証画面では、セキュリティパスワードを入力する必要がありますが、ダミー決済センターではセキュリティパスワードの入力は不要です。 「キャンセル」ボタン押下で注文をキャンセルします。キャンセルすると、『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に画面が遷移します。 「購入する」ボタン押下で『決済完了時 URL』で指定した URL に画面が遷移します。

■ ソフトバンクまとめて支払い(B)

ダミー決済センター – 決済申込:ソフトバンクまとめて支払い(B) (PC/スマートフォン向け)	
	ログイン画面 実際のソフトバンクの認証画面では、パスワードを入力する必要がありますが、ダミー決済センターではパスワードの入力は不要です。 「同意」ボタン押下で次に進みます。 「キャンセル」ボタン押下で取引結果画面(ログインキャンセル)に進みます。
	取引結果画面 上段:ログインキャンセル ログイン画面にて「キャンセル」ボタンを押下すると本画面に遷移します。 下段:決済キャンセル 決済内容確認画面から「キャンセルして戻る」ボタンを押下すると本画面に遷移します。 「次へ」ボタンを押下すると、『決済キャンセル時URL』で指定したURLに画面が遷移します。
	決済内容確認画面 「支払う」ボタン押下で次に進みます。 「キャンセルして戻る」ボタン押下で取引結果画面(決済キャンセル)に進みます。

	取引結果画面（決済完了） 「次へ」ボタンを押下すると『決済完了時 URL』で指定した URL に遷移します。
---	--

■ ソフトバンクまとめて支払い(A)

ダミー決済センター – 決済申込:ソフトバンクまとめて支払い(A) (PC/スマートフォン向け)		
		OpenID 発行画面 「OpenID を発行する」ボタン押下で次に進みます。
		確認画面 「キャンセル」ボタンを押下すると『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に遷移します。 「購入」ボタンを押下すると『決済完了時 URL』で指定した URL に遷移します。

ダミー決済センター – 継続課金終了:ソフトバンクまとめて支払い(A) (PC/スマートフォン向け)	
	OpenID 発行画面 「OpenID を発行する」ボタン押下で次に進みます。
	課金解除同意画面 「キャンセル」ボタンを押下すると『継続課金終了キャンセル時 URL』で指定した URL に遷移します。 「解除」ボタンを押下すると『継続課金終了完了時 URL』で指定した URL に遷移します。

■ フレッツまとめて支払い

都度決済、継続課金ともに、ダミー決済センターの画面遷移は同じです。

ダミー決済センター – 決済申込:フレッツまとめて支払い (PC/スマートフォン向け)	
ログイン画面 ログイン キャンセル サンプル 	ログイン画面 「ログイン」ボタン押下で次に進みます。 「キャンセル」ボタンを押下すると『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に遷移します。
課金依頼確認画面 購入 キャンセル サンプル 	購入依頼確認画面 「購入」ボタンを押下で次に進みます。 「キャンセル」ボタンを押下すると『決済キャンセル時 URL』で指定した URL に遷移します。
取引結果画面 OK サンプル 	取引結果画面 「OK」ボタンを押下すると『決済完了時 URL』で指定した URL に遷移します。

3.12 ショッピングクレジット決済

MDK 設定ファイルの DUMMY_REQUEST 項目を”1”(ダミーモード ON)に設定の上、テストを実施してください。

各言語のサンプルプログラムは、『MDK インストールガイド』を参照し、環境を設定してください。

ショッピングクレジット決済のテスト環境として、「ダミー Orico Web クレジット申込画面」と呼ばれる Orico Web クレジット申込画面のダミー環境を提供しています。

ダミー Orico Web クレジット申込画面は、オリコへの電文送信は行わず、決済サーバーにて擬似的に審査結果を返します。

ダミー Orico Web クレジット申込画面にて、店舗は与信審査結果の承認／否決を選択し、各ケースでの動作をテストできます。

■ 決済申込

下記はショッピングクレジット決済申込画面例となります。

ショッピングクレジット決済 決済申込画面

ショッピングクレジット決済:画面表示

取引ID	dummy1374208248	取引ID更新
注文番号	dummy1374208248	
会員番号		
配送先郵便番号		※形式:000-0000
取扱契約番号		
契約書有無区分		
WEB申込商品ID		

※必ず「商品1」は設定してください。

	商品名	数量	商品価格(税込)
商品1	テスト商品1	1	500
商品2			
商品3			
商品4			
商品5			
商品価格合計(税込)			500円
送料合計(税込)			
支払金額合計			500円
現金			

※2回以上クリックしないでください

[決済サンプルのトップメニューへ戻る](#)

※ダミーモードが正しく設定されていれば、ダミー Orico Web クレジット申込画面に接続されます。

ダミー Orico Web クレジット申込画面

Firefox

申込画面

※画面はVeriTrans4G（商品割賦決済（Webクレジット）のダミー）申込画面です。
※本画面はOricoWebクレジット申込画面となります。

送信パラメータ確認

商品情報

No	商品名	数量	商品価格
1	テスト商品1	1	500円
2			
3			
4			
5			

商品価格合計(税込) 500円
送料合計(税込) 0円
支払金額合計 500円
現金 0円

申込者情報

会員番号(加盟店)	
配送先郵便番号	123-4567
取扱契約番号	012
加盟店番号	xx143842
契約書有無区分	0
WEB申込商品ID	A000

与信審査結果

☒ 承認
☐ 否決

支払回数

1回

OK CANCEL

※上記画面はダミー Orico Web クレジット申込画面です。

本番取引では、Orico Web クレジット申込画面が消費者ブラウザに表示されます。

※ダミー Orico Web クレジット申込画面では、与信審査結果承認／否決を選択できます。

決済サーバーより擬似的に与信審査結果承認／否決を返戻しますので、テストシナリオに合わせて選択してください。店舗は返戻結果に応じたテストをおこなうことができます。

ショッピングクレジット決済 決済結果画面

ショッピングクレジット 決済処理結果: 決済結果取得

取引ID	dummy1374203248
取引ステータス	success
結果コード	Z001000000000000
結果メッセージ	取引が成功しました。
受付番号	0000040001

[決済サンプルのトップメニューへ戻る](#)

※決済結果画面で表示される取引ステータス(”success”／”failure”)は、ショッピングクレジット決済申込の成功／失敗を意味しています。与信審査結果の承認／否決の意味ではありませんので、注意が必要です。

※ダミー Orico Web クレジット申込画面で与信審査結果承認／否決のどちらを選択した場合でも

決済処理結果の取引ステータスは”success”が返戻されます。

ただし、ショッピングクレジット決済 決済申込画面での入力値にバリデーションエラーや取引 ID の重複が発生した場合は、決済処理結果の取引ステータスは” failure”が返戻されます。

3.13 ワンクリック継続課金サービス

3.13.1 MDK 利用時の会員管理機能のテスト仕様

ダミーモード環境(テストアカウントを利用、または本番アカウントにて DUMMY_REQUEST を”1”に設定)では、会員情報の登録・利用の全ての機能をテストすることはできません。

以下の表に、会員情報登録の可否および制限事項を示します。

機能名	登録可否および制限事項
会員情報(account)	登録可 ※すべてダミー会員として登録されます。 ※会員 ID は、本番で利用する会員 ID と重複しないように採番してください。
継続課金管理(recurring)	登録可 ※ダミー会員の場合、ダミーの課金グループのみ紐付け可能です。 ダミーの課金(ダミー取引)が行われます。
登録カード管理(cardinfo)	登録可 ※クレジットカード決済のテスト仕様として本書に記載されているテスト用のクレジットカード番号のみ登録可能です。

その他、以下の制限事項があります。

- カード情報は、マーチャント様がダミー取引で登録されたカード情報を返します。
※カード番号の先頭 6 桁と下 2 桁のみ数字表示され、その他は “*” (アスタリスク) に変換されます。
- ダミー取引によって会員登録された会員 ID を本番取引では利用できません。
(XC19 の結果コードを返戻するエラーとなります。)
- 本番取引によって会員登録された会員 ID をダミー取引では利用できません。
(XC20 の結果コードを返戻するエラーとなります。)
- 継続課金については、課金スケジュールに則ったダミー売上処理の結果を取得することができます。
詳しくは 3.13.3 継続課金のテスト方法 をご参照ください。
- 決済サーバーに保存されているダミーのカード情報に対し、洗替は実施されません。
そのため、洗替結果 CSV ファイルを取得することもできません。
- 決済サーバーから店舗様への各メール、PUSH 通知は送信されません。(継続課金失敗の PUSH 通知は送信が可能です。)
- account の Add コマンド、cardinfo の Add/Update コマンド、recurring の Add/Update コマンドでは「クレジットカード決済 エラーレスポンス用有効期限」のうち”09/99”または”12/99”または”03/98”のクレジットカード情報を会員 ID と紐づけることが可能です(会員 ID に紐づいたクレジットカード情報で決済を行った際に、決済失敗となるケースを実施することが可能です)。それ以外のエラーレスポンス用有効期限を指定すると、XH4100000000000000 または XH41AGxx00000000(AGxx は指定したシナリオに紐づいた結果)が返戻されます。”09/99”、”12/99”、”03/98”以外の与信 NG となる有効期限のカードを

登録したい場合は、withAuthorize に“0”(与信しない)を指定してください。

- 課金グループは MAP の「ワンクリック継続課金」 - 「課金グループ登録」から登録してください。
- 共用テストアカウントで登録したダミー会員 ID は、「30 日程度」で自動削除されます。削除後に会員 ID を指定して処理を行うとエラーになりますので、ご注意ください。

3.13.2 CSV ファイル授受のテスト仕様

ワンクリック継続課金サービスの会員登録機能、洗替機能、継続課金機能、決済登録機能にて提供している CSV ファイル授受のテスト仕様について記載します。

CSV ファイルの授受は、SFTP、または MAP にて行います。

CSV ファイル授受の詳細については、『ワンクリック継続課金サービス 運用ガイド』を参照して下さい。

※共用テストアカウントでは sFTP はご利用いただけません。MAP からのアップロードは不可能なアカウントと可能なアカウントがあります。本番アカウントのダミーモードを利用した場合、CSV ファイルの送信は可能です。また、CSV ファイルが送信されても、その後の処理が実行されるものとされないものがあります。

以下の表をご確認ください。

	共用テストアカウント	共用テストアカウント(カード番号全桁入力用)	本番アカウント(ダミーモード)
会員登録 CSV ファイル	アップロード(MAP): 不可	アップロード(MAP): 可	アップロード(MAP): 可
	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 可
		フォーマットチェックのみ	フォーマットチェックのみ
会員 ID 紐付依頼 CSV ファイル	アップロード(MAP): 不可	アップロード(MAP): 可	アップロード(MAP): 可
	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 可
		フォーマットチェックのみ	フォーマットチェックのみ
会員 ID コピー依頼 CSV ファイル	アップロード(MAP): 不可	アップロード(MAP): 可	アップロード(MAP): 可
	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 可
		ダミー会員登録処理実行	ダミー会員登録処理実行
決済登録依頼 CSV ファイル	アップロード(MAP): 不可	アップロード(MAP): 可	アップロード(MAP): 可
	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 可
		ダミー取引決済実行	ダミー取引決済実行
洗替依頼 CSV ファイル (MAP からのアップロード機能は無)	アップロード(MAP): ー	アップロード(MAP): ー	アップロード(MAP): ー
	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 不可	アップロード(sFTP): 可
			フォーマットチェックのみ

CSV ファイル授受のテスト時は、各機能の CSV ファイルフォーマットの「マーチャント ID」に使用しているアカウントのマーチャント ID を設定します。また、「データ種別」には、「1」:「ダミーモード」を設定します。

決済登録と会員 ID コピーでは、「データ種別」に「1」:「ダミーモード」を設定している場合、SFTP、または MAP よりアップロードされたファイルは、ダミー取引を実行します。

決済登録と会員 ID コピー以外は、「データ種別」に「1」:「ダミーモード」を設定している場合、SFTP、または MAP よりアップロードされたファイルは、バリデーションチェックのみ実施し、決済サーバーには登録されません。この為、以下の機能は提供されません。

- 洗替結果 CSV ファイルは返却されません。
- 洗替機能にて洗替処理に失敗した場合に決済サーバーから店舗様へ送られる PUSH 通知(洗替結果通知)は送信されません。
- CSV ファイル受付時に決済サーバーから店舗様へ送られるメール(洗替ファイル受付メール、受付エラーメール)は送信されません。
- 各処理完了時に決済サーバーから店舗様へ送られるメール(会員登録完了メール、課金額登録完了メール、洗替完了メール、継続課金完了メール)は送信されません。

CSV ファイル授受のテスト時に、以下の(1)～(3)に示すパターンで各項目を設定すると、特定のエラーコードが返戻されます。その他のパターンでは、全て「正常」で返戻されます。ただし、バリデーションチェックは行われている為、バリデーションに問題があればエラーが発生し、エラー CSV ファイルが返却されます。

※「設定項目 n」に対応する「設定値 n」を設定します。(例:「設定項目 1」に「設定値 1」を設定)

(1)会員登録 CSV ファイル

(A)入会(処理種別:“1”)

設定項目 1	設定値 1	設定項目 2	設定値 2	エラー内容	vResultCode
課金グループ ID	group001	—	—	未登録の課金グループ	XH08
会員 ID	user0001	—	—	入会中の会員	XH11
会員 ID	user0002	—	—	退会済みの会員	XH12

(B)変更(処理種別:“2”)

設定項目 1	設定値 1	設定項目 2	設定値 2	エラー内容	vResultCode
会員 ID	user0002	—	—	退会済の会員	XH12
課金グループ ID	group001	—	—	未登録の課金グループ	XH08
課金グループ ID	group002	課金グループ 処理種別	1	当該課金グループには、当該会員が既に存在している	XH81
課金グループ ID	group003	課金グループ 処理種別	2	当該課金グループには当該会員が存在しない	XH25
課金グループ ID	group004	カード番号	設定しない	決済可能なカードが登録されていない	XH24

(C)退会(処理種別:“3”)

設定項目 1	設定値 1	設定項目 2	設定値 2	エラー内容	vResultCode
課金グループ ID	group001	—	—	未登録の課金グループ	XH08
会員 ID	user0005	—	—	継続課金情報が登録されているため、退会できない	XH13
会員 ID	user0002	—	—	退会済の会員	XH12

3.13.3 継続課金のテスト方法

2022 年 3 月より、ダミー課金グループを使って継続課金(スケジュール課金)のテストが可能となりました。

2022 年 4 月、固定課金グループに関する仕様を変更しました。

【テスト実施のおおまかな流れ(後続の注意点も必ずご確認ください)】

1. 課金対象の会員(ダミー会員)を用意(登録)してください。
2. テストの決済日を決めてください。
※非営業日はお問い合わせへの対応はできないため、平日で設定してください。
3. 決済日に合わせて、MAP より継続課金グループ(ダミー課金グループ)の登録を行います。
※データ区分で「テスト」を選択し、課金グループを登録します。
4. ダミー課金グループと課金対象の会員を紐づけます。会員の紐づけは MAP、または MDK、または決済登録依頼 CSV ファイルで実行可能です(後述のテスト時の注意点を必ずご確認ください)。
5. 課金日当日の午後、ダミー継続課金グループの決済が実施され、結果ファイル出力と PUSH 通知が行われます。
※毎日1回処理が行われます

【テスト時の注意点】

- ダミー課金グループの決済処理は決済日の午後に実施されるため、決済当日の午前中までにダミー課金グループの登録を完了させてください(実際の決済処理時間は案内なく変更する可能性があります)。
- ダミー課金グループに対して紐づけられるダミー会員 ID 数は 10 個までになります。また、作成可能なダミー課金グループ数に上限があります。
- 本番課金グループに対してダミー会員を紐付けることはできません。
- ダミー課金グループに対して本番会員を紐付けることはできません。ダミー課金グループに対して本番モードでリクエストすることもできません。
- 会員登録 CSV ファイルは、ダミーモードではフォーマットチェックのみが行われ、実際の登録処理は行われません。そのため、ダミー課金グループに会員を紐づける方法としてはご利用いただけません。
- 決済登録依頼 CSV ファイルを使ってダミー課金グループに紐づける場合、決済リクエストが失敗するケースでは課金グループへの紐づけは行われません。MDK の決済処理と同時に紐づける方法も同様となります。
- MAP では、会員情報の詳細画面から会員 ID とダミー課金グループの紐づけが行えます。具体的には、MAP にログインし、「ワンクリック継続サービス」のメニューより会員の検索を行い、会員 ID のリンクから遷移した詳細画面に表示される課金グループの「追加」ボタンを押下して遷移します。ダミー会員 ID の場合、課金グループ ID のプルダウ

ンにはダミー課金グループだけが選択肢として表示されます。

- ダミー課金グループは、後述の固定課金グループを除いて1週間程度で自動削除されます(不要なデータが残り続けないようにするための仕様)。そのため、月次課金のテストために決済日がN日のダミー課金グループを作成し、テストを実施しても、翌月のN日にはその課金グループ、紐づけた会員IDは残りません。定義した課金グループは実質1回しか利用できないためご注意ください。
- 決済の成功・失敗は会員IDに紐づくクレジットカード情報に従います。有効期限により失敗をシミュレート可能です。具体的な内容については「3.2 クレジットカード決済」をご参照ください。
- PUSH通知を行う場合は、決済失敗パターンの会員をご用意ください。
- 何らかのトラブル等により、当日実行予定だったダミー課金グループに対する決済が行われなかった場合でも、当日のリトライは行いません。予期せぬケースも考慮して、ダミー課金グループへの追加を再度実施できるようご準備をお願いいたします(例えば翌日決済される課金グループを定義して会員の紐付け作業がすぐに行えるように準備しておく等)。
- 課金処理は1日1回だけとなります。例外として、ダミー課金処理関連のメンテナンス(プログラム改修)を行う場合に複数回実行する場合がございます。

【共用テストアカウント利用時の注意点】

- 共用テストアカウントは、複数のマーチャント様にご利用されておりますので、会員、ダミー課金グループはマーチャント様自身で作成したものをご利用ください(他者が作成した会員ID、課金グループを無断で利用しない)。
- マーチャント様自身で作成したダミー課金グループ以外は利用しないでください。更新、削除もしないようお願いいたします。
- 共用テストアカウントでは、作成可能なダミー課金グループ数を多めに設定しておりますが、数に限りがございますので、1社(担当者)で多数の課金グループを作成することはお控えください。
- テスト決済終了後に利用したダミー課金グループの削除をお願いいたします。
- 共用テストアカウントでPUSH通知のテストは実施できません(通知先URLを指定できないため)。テストをご希望の場合は、テスト用マーチャントIDの貸し出しをお問い合わせください。貸し出し用マーチャントIDは数に限りがございます。また、ご利用可能期間にも制限がございます。予めご了承ください。

【固定課金グループに関する補足(2022年4月～)】

- 課金グループ名が「Veritrans_Dummy_01」または「Veritrans_Dummy_02」の課金グループは自動削除の対象外となります。
- 固定課金グループも最初に手動で作成する必要があります(マーチャントID発行時に自動で作成されません)。
- 固定課金グループもその他ダミー課金グループと同様にテスト決済処理を行います。課金グループが削除されない点以外については、後述の仕様を除き、ダミー課金グループと同じ仕様となります。
- 固定課金グループに紐づけた会員IDは、1週間程度で紐づけが解除されます。次の課金タイミングで決済対象としたい場合は再度課金グループとの紐づけが必要です。
- 上記動作はダミー課金グループとして作成する前提の仕様となります(同名の本番用課金グループも作成可能)。

【旧仕様からの変更点等の補足】

- 旧仕様では、ダミーモードで利用可能な課金グループは「Veritrans_Dummy_02」のみで、マーチャント様が自由に課金グループ ID を指定してテストすることはできませんでした。新仕様では、加盟店様にて課金グループを指定して作成することが可能になります。
- 旧仕様では、「Veritrans_Dummy_02」課金グループへの会員 ID の紐づけの処理は確認ができましたが、課金結果（ファイル、通知）を受領する部分は試験ができませんでした（通知についてはツールを利用して可能）。

4. その他

4.1 決済申込後の取引ステータスの変化について

コンビニ決済、電子マネー決済、銀行決済

コンビニ決済、電子マネー決済、銀行決済は、通常の取引では、決済申込の後に消費者が支払い処理を行って初めて入金済ステータスとなり、その入金確定情報をマーチャント側で確認、もしくは入金通知を受信して決済完了とします。ダミーモード環境(MDK 設定ファイルにて「DUMMY_REQUEST = 1」を設定)では、コンビニ決済、電子マネー決済、銀行決済で”success”となった取引は、約 **20 秒後**に自動的に入金済ステータスとなります。

また、電子マネー決済で”success”となった返金申込は、20 秒後に自動的に返金済ステータスとなります。

ただし、Edy の場合はこの限りでなくステータスが変わる迄 10 分程度かかります。

4.2 結果通知の受信テストについて

(A) 3D セキュア

「3D セキュア」においては、本人認証結果、およびクレジットカード決済結果を PUSH 電文として受信することが可能です。(クレジットカード決済の結果が失敗の場合も結果通知の受信が可能です。)

詳細は『開発ガイド別冊 本人認証(3D セキュア 2.0) ご利用ガイド』を参照してください。

(B) コンビニ決済、電子マネー決済、銀行決済

「コンビニ決済」「電子マネー決済」「銀行決済」では、入金済となった取引の結果通知を PUSH 電文として受信することが可能です。

(C) PayPal決済

「PayPal 決済」においては、売上処理後、または返金処理後、結果通知を PUSH 電文として受信することが可能です。

ダミーモード環境においても、速報、および確報の PUSH 電文の受信が可能です。

① 速報

売上処理(「与信同時売上処理」、または「売上処理のみ」)が完了する(処理結果画面が表示される)と、リアルタイムで決済サーバーより入金通知を PUSH 送信します。

また、返金処理についても処理が完了する(処理結果画面が表示される)と、リアルタイムで決済サーバーより返金通知を PUSH 送信します。

尚、速報については、売上、返金とも処理が成功した取引に対してのみ PUSH 送信します。

② 確報

一定間隔の間(5 分程度)に売上処理、返金処理を行った取引をまとめて確報として PUSH 送信します。

本番取引では、基本的に速報の翌日に確報を PUSH 送信しますが、ダミーモード環境では数分から十数分後に PUSH 送信します。通知タイミングが本番取引とは異なりますのでご注意ください。

尚、本番取引では、確報は売上、返金とも成功／保留／失敗のステータスの取引に対して PUSH 送信しますが、ダミーモード環境では、確報は売上、返金ともステータスが成功に遷移した取引に対して PUSH 送信します。速報の時点で保留のステータスだった取引は、決済サーバーにて自動的に成功のステータスへ遷移し、確報では成功のステータスで通知します。

(D) 銀聯ネット決済(UPOP)

銀聯ネット決済(UPOP)では、与信、売上、キャンセル、返金それぞれの処理について、店舗様へ結果通知を送信します。通常、決済ステータスの確定後、5 分以内に通知を送信します。

本番取引では、翌日以降に結果通知の再送が行われる場合がありますが、ダミーモードでは、通信異常時のリトライを除き、必ず 1 回の通知となります。翌日再送分の受信テストは実施できません。

(E) Alipay決済

「Alipay 決済」においてはオンライン決済とバーコード決済(消費者スキャン型)の場合に結果通知を PUSH 電文として受信することが可能です。(バーコード決済(店舗スキャン型)では通知されません。)

- ・ オンライン決済の場合

与信時の決済結果(成功・失敗)、および返金申込に失敗した場合に決済ステータス判明後 5 分以内に決済サーバーより PUSH 送信します。

尚、Alipay 決済センターから届く清算データとペリトランスの取引データを比較し、差異が生じた場合に送信される訂正報の通知機能については、テスト環境ではテストできません。

- ・ バーコード決済(消費者スキャン型)の場合

与信時の決済結果(成功・失敗)を決済ステータス判明後 5 分以内に決済サーバーより PUSH 送信します。

(F) キャリア決済

「キャリア決済」では、決済申込／継続課金終了申し込みを完了させた場合、継続課金結果／継続課金抹消情報を PUSH 電文として受信することが可能です。

キャリア決済では、キャリア側での認証(キャリア側での決済申込確定)の後、店舗様システムに戻る画面遷移の途中で何らかの理由で離脱してしまう可能性があるため、結果通知の受信は強く推奨させていただいております。

(G) ショッピングクレジット決済

「ショッピングクレジット決済」では、オリコ側の与信審査完了後、審査結果がオリコより決済サーバーへ通知されます。

決済サーバーは審査結果を受信後、店舗様システムへ審査結果通知の PUSH 送信を行います。

ダミーモード環境(MDK 設定ファイルにて「DUMMY_REQUEST = 1」を設定)では、決済完了の 30 秒後にダミー Orico Web クレジット申込画面で選択した与信審査結果に合わせて、決済サーバーから審査結果通知を店舗側へ送信します。(承認、否決のどちらを選択した場合でも審査結果通知は送信されます)

受信テストを行う場合は、以下のいずれかの方法にてテストを実施してください。

4.2.1 テスト用アカウントでのテスト

テスト用アカウントを使用した取引は、すべてダミーモード環境での動作となります。

テスト用アカウントは共用アカウントとなるため、MAP の結果通知先 URL に特定の店舗様の URL を登録することはできません。

要求電文に pushUrl が設定可能な決済の場合は、要求電文に結果通知先 URL を設定してください。

要求電文に pushUrl を設定できない決済の場合は、結果通知受信のテストは、本番アカウントにて実施してください。詳細は、「4.2.2 本番アカウントでのテスト」を参照してください。

(A) 3D セキュア

3D セキュアにおいては、本人認証要求電文、および本人認証再取引要求電文の「プッシュ URL (pushUrl)」項目で結果通知 URL を指定することができます。「プッシュ URL (pushUrl)」に店舗様の結果通知受信 URL を指定して決済を行ってください。

該当取引に関する結果通知は、本人認証、または本人認証再取引時に指定した URL に対して行われます。

共用テスト用アカウントを使用し、要求電文の「プッシュ URL」を指定しなかった場合は、結果通知が受信できませんのでご注意ください。

(B) キャリア決済

キャリア決済においては、決済申込電文の「プッシュ URL (pushUrl)」項目で結果通知 URL を指定することができます。テスト用アカウントを使用する場合、決済申込電文の「プッシュ URL」に店舗様の結果通知受信 URL を設定して決済申込を行ってください。

決済申込が成功した場合、該当取引に関する結果通知は、決済申込時に指定した URL に対して行われます。

決済申込電文に「プッシュ URL」を指定しなかった場合、結果通知が受信できませんのでご注意ください。

なお、継続課金の本番モード (DUMMY_REQUEST = 0) では、「プッシュ URL」は指定できませんのでご注意ください。

(C) コンビニ決済、銀行決済

コンビニ決済、銀行決済においては、決済申込の要求電文の「プッシュ URL (pushUrl)」項目に URL を指定すると、その URL に入金通知が送信されます。本番アカウントのダミーモードおよびテストアカウントでは決済申込成功後約 20 秒後に自動的に入金済みのステータスとなり、入金通知が指定の URL に送信されます。

共用テスト用アカウントを使用し、要求電文の「プッシュ URL」を指定しなかった場合は、入金通知が受信できませんのでご注意ください。

4.2.2 本番アカウントでのテスト

要求電文に pushUrl を設定できない決済の場合は、以下を設定し、テストを実施して下さい。

- ① MDK にて本番アカウントを設定

※ 本番アカウントの発行については弊社営業担当にご連絡下さい。

- ② MDK にてダミーモード環境を設定

③ 本番アカウントでの結果通知受信 URL を、事前に登録する

- ※ テストアカウントは複数のマーチャントが共有しておりますので、個別 URL の設定は出来ません。
- ※ 結果通知受信 URL は、MAP の各種設定変更のページより登録することが可能です。
- ※ ここで登録する URL は本番運用開始後もそのまま適用されます。
- ※ 登録頂ける URL は [HTTP \(Port:80\)](http://)、[HTTPS \(Port:443\)](https://) のプロトコル・ポートのみとなります。
- ※ MDK の要求電文に URL を指定可能な決済サービスもあります。この場合は、MAP での URL 登録は必須ではありません。MAP と MDK の要求電文の両方に URL が設定されている場合、MDK の要求電文に設定された URL が利用されます。MDK の要求電文で URL を指定可能かどうかは、各決済サービスの『インターフェース詳細』をご確認ください。

④ 取引を実施する。成功した場合、自動的に取引ステータスが変化し、該当する通知データを送信します。

4.3 テスト取引の確認について

テストを行った取引は、管理ツールである MAP (<https://admin3.veritrans.co.jp/maps/>) において検索・参照することが可能です。

4.4 取引 ID について

4.4.1 テスト用アカウントをご利用の場合

共用のテストアカウントは、複数の店舗様にて共用でご利用いただいております。

このため、設定した取引 ID が、他の店舗様が利用した取引 ID と重複し、エラーが発生する場合があります。

取引 ID の重複を避けるため、取引 ID に店舗様を特定する文字列(社名、サイト名等)を含めていただくことを推奨しています。

4.4.2 本番アカウントをご利用の場合

テスト取引(本番アカウントにて DUMMY_REQUEST = 1 の設定)で使用した取引 ID は、本番取引(本番アカウントにて DUMMY_REQUEST = 0 の設定)で再度使用することはできません。

本番取引開始の際は、取引 ID の採番にご注意ください。

4.5 取引の保存期間など

末尾 69951 の共用のテストアカウントは取引 ID の保存期間が 30 日程度と短くなっております。また、与信有効期限も 7 日程度と短くなっております。他の共用テストアカウントの保存期間、与信有効期限も同様に短く設定させていただく場合がございますが、多数の加盟店様のご利用によりデータ容量が増えすぎることを防止するための措置になりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。